

平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立小岩高等学校
全日制課程

1 計画の概要

- (1) 本校の教員による中学校での授業及び教員交流
- (2) 中学生を対象とした体験授業
- (3) 特別支援学校との交流活動
- (4) 部活動を通じた中学生との交流活動

2 実施内容

- (1) 本校の教員による中学校での授業及び教員交流

江戸川区立鹿本中学校において、パソコンや携帯電話を用いて情報モラルに関する授業を実施した。また、授業の後、教員間で情報機器を用いた授業の在り方、中学校と高校の教育について意見交換会を行った。

- (2) 中学生を対象とした体験授業

中学生向けに身近な題材をテーマにした親しみやすく、分かりやすい、英語と理科の授業を行った。英語は話すこと、理科は実験を主とした生徒参加型の授業であった。

- (3) 特別支援学校との交流活動

小岩高校の生徒会役員と江戸川特別支援学校の生徒とで交流会の計画を自ら立案し、クリスマス会として小岩高校の吹奏楽部も交え一緒に演奏、ボッチャ大会を通じた交流活動を行った。

- (4) 部活動を通じた中学生との交流活動

夏季休業中に、バドミントン部が近隣の中学校の生徒15名を招いて、一緒に部活動を行った。互いに緊張感のある練習ができた。

また、女子バレー部は3月に近隣の中学校15校の生徒約300名を招いて、「下町カップ」を本校において実施した。白熱した試合が展開し、優勝したチームは高校生もかなわないかもしれないと思わせるほどの高い技術力であった。

中学生と一緒に部活動を行うことにより、本校生徒は年長者としての自覚をもち、中学生は自分が高校生になったときのイメージをもつことができ、双方、楽しげな表情で活動を終えることができた。



3 成果と課題等

【成果】

中学校、高校及び特別支援学校それぞれの生徒・教員相互の理解が深まった。また、異校種の生徒との交流を通して、他者理解・思いやりの心の育成が図られた。

【課題】

今後、時間や時期を工夫することで交流活動に参加する教員・生徒の人数を一層増やしたい。